

事業名 (所在地)	進捗率 (H15.3)	事業を巡る	事業効果の定量的分析 (費用便益比)	自然環境等への 影響と対策	評価
事業概要	途中段階効果	社会経済情勢の変化	事業効果の定性的分析	委員会における 主な審議内容	
(水質保全対策事業) 石川深溝地区 (藤井寺市、羽曳野市、富田林市)	事業採択年度 計画時 H5 再評価時 H5  事業着手年度 計画時 H5 再評価時 H5  完成予定年度 計画時 H11 再評価時 H16  分析 計画時に想定し ていた年度事業費 が確保できず、5年 延長した。  進捗状況 用地 % 工事 91%	・農業用水の水質汚濁 に起因する障害を除去 するため、農業用排水 施設内の水質を改善 し、良質な農業用水を 確保する。  ・水質調査 k j e - N H5: 平均1.26mg / l H14: 平均0.26mg / l  [地元等の協力体制] 地元は事業に協力的で ある。	計画時点 : 1.01 便益総額 B = 15.0 億円 総費用 C = 14.9 億円  再評価時 : 1.03 便益総額 B = 25.7 億円 総費用 C = 25.1 億円	スイレン・キショウブ 等の水生植物の植栽や 接触酸化など自然の浄 化機能の活用により水 質改善を行っている。  (費用便益について) 農林水産省の基準に 基づき、農業生産効果 を便益として計算して いることを確認した。 なお、環境創出効果 の便益価値も考慮す べきではないかとの意見 があった。  (整備手法について) コストの問題もある が、農業用水路の整備 にあたっては近自然 型の工法も検討して いく必要があるのだ はないかとの意見が あった。	事業継続
[目的] 本事業の計画対象地域 は大阪府東南部、石川の左 岸に位置する都市近郊農 業地域であるが、近年、周 辺地域の都市化の進行に より、農業用水への生活排 水等の汚水流入、ため池の 富栄養化等広域的な農業 用水の汚濁が発生してい るため、水路の用排水の分 離など、広域的な水質保全 対策を行い、良好な農業用 水の確保と生活環境の保 全を図るものである。  [内容] 水路工 L = 3,814m 水質浄化施設 8箇所 ため池等浄化浚渫 16箇所  [事業費] 全体事業費 約25.1億円 (内訳) 工事費約25.1億円  投資済事業費 約22.9億円 (内訳) 工事費約22.9億円	整備後の施設を 利用して、受益 農地に用水を供 給している。				

事業名 (所在地)	進捗率 (H15.3)	事業を巡る 社会経済情勢の 変化	事業効果の定量的分析 (費用便益比)	自然環境等への 影響と対策	評価
事業概要	途中段階効果		事業効果の定性的分析	委員会における 主な審議内容	
<p>(いきいき水路モデル事業) 長瀬・玉串地区 (東大阪市・八尾市・柏原市)</p> <p>[目的] 長瀬川・玉串川は、290余年の歴史を持つ農業用水路であるが、近年における水路の老朽化と流域の都市化の進行に伴い水質の悪化や漏水、洪水時の溢水による被害が発生しているため、用排水の分離と出水時の貯留機能に留意した水路の改修を行い、溢水被害の防止を図ると共に、親水性の向上にも配慮した整備を実施することにより快適な水辺環境の創出を図るものである。</p> <p>[内容] 水路改修 L = 9,300m 一時貯留施設 5,000m<sup>3</sup> 上部利用工 L = 5,543m</p> <p>[事業費] 全体事業費 約44.2億円 (内訳) 工事費約44.2億円</p> <p>投資済事業費 約37.3億円 (内訳) 工事費約37.3億円</p>	<p>事業採択年度 計画時 H5 再評価時 H5</p> <p>事業着手年度 計画時 H5 再評価時 H5</p> <p>完成予定年度 計画時 H14 再評価時 H17</p> <p>分析 計画時に想定していた年度事業費が確保できず、3年延長した。</p> <p>進捗状況 用地 % 工事 84%</p> <p>整備後の施設を利用して、農業用水の供給と流域の排水を行っている。</p>	<p>[防災] 貯留施設の整備による、浸水被害の未然防止 住民参加による水辺環境づくり</p> <p>・地域住民の水辺環境保全活動の回数 H5: 0回/年 H14: 13回/年</p> <p>・近隣小中学校における環境教育活動の回数 H5: 0回/年 H14: 17回/年</p> <p>・長瀬川のゴミ処理量 H10: 170t/年 H14: 140t/年</p> <p>[地元等の協力体制] 地元は事業に協力的である。</p>	<p>計画時点 : 1.41 便益総額B = 28.0億円 総費用 C = 19.8億円</p> <p>再評価時 : 1.06 便益総額B = 49.4億円 総費用 C = 46.6億円</p> <p>・農業用水の確保により、営農条件が改善され農作物が安定供給される。 ・水路整備による防火用水の確保、防火帯として活用される。 ・洪水時における浸水被害の未然防止により、安全な生活環境が形成される。 ・長瀬川の持っている多面的機能の保全と活用に向けた取り組みが活性化する。 ・住民同士や世代を超えた交流が活性化する ・水路の親水護岸や、遊歩道の設置等により、地域の人々がやすらぎと潤いを感じる水辺環境を創出する。 ・用排水を完全に分離することで、悪臭やユスリカ等の発生を抑制する。 ・魚や野鳥、水生植物等生き物の生息場所が確保できる。 ・歴史的文化遺産である農業用水路の保全</p>	<p>・環境に配慮した構造として、水路のさかなだまりを設置している。</p> <p>・八尾市、東大阪市が中心となって、長瀬川水辺環境づくり実行委員会を組織し、整備中の水路への水生植物植栽活動を実施し、そこが水生生物等のすみかとなっている。</p> <p>(費用便益について) 農林水産省の基準に基づき、農業生産効果便益として計算していることを確認した。 なお、環境創出効果の便益価値も考慮すべきではないかとの意見があった。</p> <p>(整備手法について) コストの問題もあるが、農業用水路の整備にあたっては近自然型の工法も検討していく必要があるのではないかとの意見があった。</p>	<p>事業継続</p>